

疾患ゲノム研究センター大学院セミナー

梶 昭 博士

ペンシルバニア大学医学部微生物学教授

タンパク合成の第4段階 その機構と応用について最新知見

6月11日 (金) 16:00~17:30

疾患ゲノム研究センター1階
交流ホール

細胞内でのタンパク合成は、始動、伸長、停止、そして、リボソーム再利用の4つの段階から構成され、リボソームの再利用は ribosome recycling factor と elongation factor G によって触媒される。Ribosome recycling factor を発見し、その構造と機能の解析を進めてこられた梶教授の来学に際して、特別セミナーを開催いたします。多数のご来聴をお待ちしております。なお、本セミナーは大学院特別講義を兼ねます。

Trends Biochem Sci. 31, 143, 2006
Nat Struct Mol Biol. 14, 727, 2007

Mol Cell. 27, 250, 2007
Nucleic Acids Res. 36, 6676, 2008

問い合わせ先：疾患ゲノム研究センター遺伝子実験施設(大学院医科学教育部免疫系発生学)
高浜洋介 (x9452, takahama@genome.tokushima-u.ac.jp)